NIKKAN SEMINAR 日刊工業新聞社技術セミナー

※裏面にも他のセミナー情報を掲載しています

【会場×ライブ配信セミナー同時開催】

いまはやりの異常検知・予知保全では解決できない！

設備原則整備のアプローチで取り組む ダウンタイムゼロ

～"原則崩れ"を招く20の要因と8つの対策を知り、設備トラブルがなくラクに生産できる現場をつくる～

日時 2025年11月6日（木） 10:00～17:00（9:30 受付開始）

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。（休憩時間の会場内飲食は可能）

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム ／ オンライン（ZOOM）

講師 大谷 みさお 氏
株式会社ロンド・アプリウェアサービス

受講料 48,400円（資料含む、消費税込）
※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15％割引とさせていただきます。

受講効果
【1】AI予知保全に依存しない設備トラブルに起因するダウンタイムゼロ手法が学べます。
【2】原則崩れを招く20の要因と、これを防ぐ8つの対策がセットで学べます。
【3】これにより異物不良など設備に起因する不良・チョコ停止をゼロにできます。
【4】本講座の原則整備の実践で自然劣化状態となり、的確な計画保全体制がつくれます。
【5】同時に、原則崩れの状態が理解でき、自社の管理体制の見直しにつながります。

プログラム

1．設備改善の基礎
1.1 慢性と突発の区分
1.2 原理とは
1.3 原則とは
1.4 原理・原則と不具合現象
1.5 原則の崩れ清掃しながら発見し復元する
1.6 現象の連鎖

2．設備トラブルの原因は原則の崩れ
2.1 設備トラブルとは
2.2 ２０の原則の崩れは
2.3 ８つの対策

3．原則整備へのアプローチ（設備改善の進め方）
3.1 データ収集
3.2 データ分析
3.3 改善対象の明確化
3.4 全体清掃の実施
3.5 ３現２原シートの作成
3.6 分解清掃の実施
3.7 メカニズムの解明
3.8 点検基準書の作り方

4．故障をゼロにするには
4.1 故障とは
4.2 自然劣化と強制劣化
4.3 故障ゼロを実現するための原則整備の必要性
4.4 故障ゼロを実現する３ステップ

5．設備の原則崩れから発生する異物
5.1 異物とは
5.2 ３６の発生源－設備起因９つの発生源
5.3 ７つの伝達経路
5.4 異物の感性

6．安全を確保したトラブル復旧
6.1 立ち上げ・立ち下げ手順
6.2 安全不具合点の洗い出しと対策
6.3 注意力マネジメント

7．段取り作業手順の統一
7.1 タイムチャートの活用による改善ポイントの明確化
7.2 段取り準備台車の作製
7.3 パターン改善
7.4 調整の調節化
7.5 ビデオ標準を活用した教育

8．まとめ

受講にあたり
開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂くことがございます。（担当者より一週間前を目途にご連絡致します。）

お申し込み方法
ホームページ（https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search）または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料
セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー
開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.257011

日刊工業新聞社
申込・問合せ 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052（931）6158（直通） FAX 052（931）6159
日刊工業 セミナー
https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search